

Ⅱ-4 維持管理労力の軽減

用水路のパイプライン化などによる維持管理の負担軽減

空知管内北海土地改良区では組合員の減少や用水施設の老朽化などによる維持管理の負担の増大が課題となっている中、区画拡大や用水路のパイプライン化によって大幅に維持管理を軽減しています。

◆用水施設のパイプライン化(空知管内北海土地改良区エリア)

・開水路



目地補修



・開水路



草刈り



土砂上げ



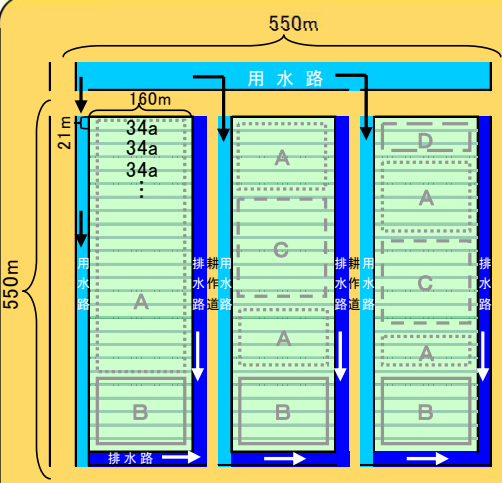
用水路による維持管理費の比較(1km当りのモデル)

	開水路	パイプライン	
草刈り	183	草刈り	216
土砂除去	472	パイプ清掃	2
		流末部堆積物除去	1
合計	655		219

(千円)

維持管理作業(例) 維持管理費を67%軽減

◆区画拡大と用水路再編による維持管理費の低減(妹背牛町妹背牛6区地区(H12~18))

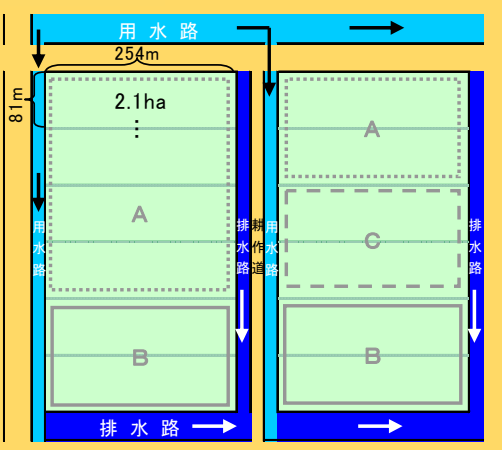


ほ場枚数
75枚→**12枚**
(8割減)

用排水路
4.4km→**3.3km**
(3割減)

耕作道
1.11km→**0.5km**
(5割減)

畦畔
15.6km→**5.5km**
(7割減)



- 大区画化ほ場で農業機械の作業効率が向上するとともに、畦畔、用排水路、耕作道が減少し草刈り作業などが大幅に減少
- パイプライン化により水管理作業が大幅に軽減するとともに、水資源の節約も可能
- ほ場条件の均一化により農地の集積・集約化がスムーズに行われ、耕作放棄地の発生を防止するとともに、農作業の連続性が確保され大幅な省力化が可能